

令和7年5月12日

各位

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会における 一般観客の一眼レフ等での撮影の禁止について

平素より本連合の大会運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今大会における撮影申請について、以下の通り運用を変更致します。

これまで一般観客の皆さまは、事前の撮影申請で一眼レフカメラ、ビデオカメラ等の撮影機材使用が可能（一部区画）となっておりましたが、今回大会より

一般観客による一眼レフやビデオカメラ等での撮影を 一切禁止する事と致しました。

本件につきましては、これまでの大会において迷惑撮影とみられる行為が横行し、実際に警察対応が必要となる事態が発生したほか、多くの観客の方からの通報も相次ぎ、その都度、迷惑撮影か否かを確認するための対応を大会役員が行うことで、従来の競技運営業務が滞る事態が続いておりました。

陸上競技を純粋に楽しむ皆様にとって競技の撮影もひとつの楽しみ方であることは重々承知しておりここ数年は一般の皆さまの撮影環境を守ることを前提に場内の規制を行ってきましたが、上記の事態を重く受けとめ、観客・関係者の皆さまが安心して観戦できる環境を整えるとともに、競技者が集中して安全に競技に臨める環境を確保するため、苦渋の決断ではありますが、撮影に関する運用の見直しを行うことといたしました。

なお、選手のご家族・ご友人、また大学陸上競技部等の関係者(OB/OG)は、エントリー(5月19日(月))以降に各大学から撮影申請書入手、必要事項を記入の上、大会当日にインフォメーション・センターにて撮影許可申請手続きを行ってください。撮影可能エリアでの一眼レフ、ビデオカメラ等での撮影が可能となります。

競技者が気持ちよく大会に参加できるよう、学生幹事を中心に準備を進めてまいります。

大会に関わる全員で選手を守る大会運営に、ご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

以上